

昭和五十八年五月

平城宮発掘調査出土木簡概報(六)

奈良国立文化財研究所

平城宮発掘調査出土木簡概報（十六） 正誤表

頁・段・行	誤	正
二頁上段十三行	点数は七五七点	七四九点
五頁下段 三行	歳後无恩母倉	天恩

大正十一年六月八日

養用送致
大正十一年六月八日

德任同部
德任同部
調製
養用送致

德任同部
德任同部
調製
養用送致

德任同部
德任同部
調製
養用送致

養用送致

養用送致

德任同部

德任同部
大正十一年六月八日

小後園在助却日村湯
乃佐物産

坂田郡上佐賀三行會六十三

西大宮

伊勢

巽河國志

壬午

この概報には、さきに公刊した『平城宮発掘調査出土木簡概報十五』（昭和57年5月）以後、平城宮跡および平城京跡内から出土した木簡の主要なものを収録する。以下、木簡の出土地域ごとの状況を述べ、木簡の形態分類、凡例と釈文をかかげる。

一、木簡出土の地点と状況

第一三九次調査（6AAA・B区）

昭和57年3月～7月

発掘区は平城宮内裏の東北方で内裏北外郭の東北隅をふくんでいる。発見した遺構は掘立柱建物八棟、溝一三条、塀三条、築地二条、土壇などである。木簡は南北大溝SD二七〇〇と東西溝SD一〇五五〇、および時代のくだる南北溝SD一〇五四五とから総計二五八点出土した。

南北溝SD二七〇〇 SD二七〇〇は上幅二・〇m、底幅〇・九m、深さ一・四mの規模で人頭大の玉石を六～七個積んで護岸をした石組溝である。溝の築成の順序としては、まず断面V次形の素掘りの溝を掘り、三〇cmの最下層の礫まじり灰色砂の堆積がなされたのち、粘質土を裏こ

めとしながら玉石を積みあげていったものである。SD二七〇〇の堆積層は石組の底から五層にわけられる。その最下層から養老七年～天平四年、下から二層めに神龜三年～天平九年、四層めに天平宝字四年～六年の紀年銘をもつ木簡が出土しており、また、最上層からは天応の銘をもつ墨書土器が出土した。SD二七〇〇から出土した木簡は計一九四点であった。なお、SD二七〇〇については、古くは一九二八年、三二年の奈良県技師岸熊吉氏による調査や、当研究所の第二二次調査、第一二九次調査においても検出し、後の二者では木簡を検出している（平城宮発掘調査出土木簡概報三、十五）。

出土した木簡のうち内容として注目されることは、貢進物の荷札が多数ふくまれていることである。なかでも、隱岐国の荷札が一五点ふくまれていることが特に注目される。

東西溝SD一〇五五〇 SD一〇五五〇はSD二七〇〇の東に接続するもので上幅二・七m、底幅一・〇m、深さ一・七mの素掘りの溝である。堆積はSD二七〇〇とほぼ同じであり、最上層から天応元年の銘の墨書土器が出土した。木簡は計六三点である。SD一〇五五〇が西にながれてSD二七〇〇にそそいでいたものか、あるいはSD二

七〇〇がSD一〇五五〇へながれこんでいたものかについては明確には判断できなかった。出土遺物については両溝に相違はみとめられない。木簡についても同様である。

第一四〇次調査 (6ABH・I・J・U・V)

昭和57年8月～58年1月

発掘区は平城宮推定第一次朝堂院の南部にあたり、木簡は平城宮推定第一次朝堂院の外側で北から南にながれる溝(SD二七二五)、同溝から西へ枝わかれする東西溝(SD一〇七〇五a)、さらにSD一〇七〇五aが南にまがった溝(SD一〇七〇六)、および、SD一〇七〇六をさらに西へつけかえた南北溝(SD一〇三二五b)とから出土している。木簡の出土総点数は七五七点である。

南北溝SD三七一五 SD三七一五からは計四一六点

出土している。SD三七一五は平城宮の基幹排水路でSD三七六五のつけかえである。二回の改修のあとがあり、上中、下の三層にわかれる。木簡は下層溝からすべて出土した。下層溝の深さは約〇・六m。中層の溝は下層溝をうめたのちにくっさくしている。深さは約〇・四m。上層溝は中層溝をうめたあとくっさくしている。

東西溝SD一〇七〇五a SD一〇七〇五aは上下二層にわかれ木簡は下層から一点出土した。幅二～三m、深さ約〇・五mを計る。

南北溝SD一〇七〇六 SD一〇七〇六からは木簡は

三五点出土している。SD一〇七〇六は幅約二・二m、深さ〇・九mを計る。

南北溝SD一〇三二五b 木簡は二九七点出土してい

る。SD一〇三二五bは幅約二・四～五m、深さ〇・五mを計る。この溝は本発掘区の南側の第一三六次調査区で東へまがりSD三七一五の中層溝を切っている。

第一四一―二三次調査 (6AHN)

東市堀川跡 (SD一三〇〇)

昭和57年10月

東市堀川跡(SD一三〇〇)は左京九条三坊の五坪にあたる地点で堀川にかかる橋の遺構などとともに検出した。SD一三〇〇は幅約一一m、深さ一・三mを計る。木簡は総計五点出土している。また伴出した遺物には多量の土器、瓦、木器などとともに合計三一点の墨書土器がある。墨書の内容には「佐太」「竹田」「林」などがある。

第一四一―二八次調査(6AFH)

左京三条三坊七坪

昭和57年12月

南北溝(SD二三二五)は幅4m以上、深さ一・五mを計る。木簡は瓦、木器などともに一点出土している。

第一四一―三五次調査(6AFI)

左京三条二坊七坪

昭和58年3月

調査は駐車場の建設にともなうものとしておこなわれ掘立柱建物一〇棟、流路八条がみつかった。流路の中にながたれた土壙(SK一七)から木簡が一点みつまっている。土壙SK一七は径約4mの不整形のものである。

第一四三次調査(6ABY)

昭和57年7月～8月

朱雀大路西側溝SD一〇九五〇を朱雀門西方で検出した。SD一〇九五〇は当初幅二・五m、深さ〇・四mの素掘り溝であり、のち東岸をしがらみで護岸していた。木簡は計二点出土した。

二、凡例

(一) 釈文は出土遺構ごとに掲げ、同一遺構の中では、内容分類によって、文書、付札、その他の順に配列するのを原則とした。

(二) 最上段に出土地点(アルファベット・数字)、次の段に形態を示す型式番号を記した。型式番号は次の通りである。なお本概報では千位の6を省き三桁の数字で表わした。

6011型式 長方形の材。

6015型式 長方形の材の側面に孔を穿ったもの。

6019型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6011・6032・6051型式のいずれかと推定される。

6021型式 小形矩形のもの。

6022型式 小形矩形の材の一端を圭頭にしたもの。

6031型式 長方形の材の両端の左右に切り込みをいれたもの。方頭・圭頭など種々の作り方がある。

6032型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれたもの。

6033型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を尖らせたもの。

6039型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6031・6032・6033型式のいずれかと推定される。

6051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。

6059型式 長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。

原形は6033・6051形式のいずれかと推定される。

6061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

6065型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

6081型式 折損・割截・腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

6091型式 削屑。

(三) 釈文に加えた符号はつぎの通りである。

くく 抹消した字画のあきらかな場合に限り原字の左傍に付した。

■ 抹消により判読困難なもの。

□ □ □ 欠損文字のうち字数の確認できるもの。

□ 欠損文字のうち字数が推定できるもの。

□ □ 欠損文字のうち字数の数えられないもの。

□ □ 記載内容からみて上または下に少くとも一字以上の文字を推定したもの。

「」 異筆、追筆。

∟ 合点。

・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。

カ 編者が加えた注で疑問の残るもの。

マ マ 文字に疑問はないが意味の通じ難いもの。

〔 〕 校訂に関する注のうち、本文に置き換わるべき文字を含むもの。

() 右以外の校訂注および説明注。

(四) 釈文の出土地点の上に付した*印は、口絵図版に写真を掲げた木簡を示す。*は図版一に、*は図版二に掲げた。

FP 35 039 参河國播豆郡條嶋□□マ少人調□□

FJ 35 032 (信濃) □□國安曇郡□□年魚二斗七升

FP 35 039 参河國芳豆郡□

FP 34 032 三家郷白猪部少國

SS 35 019 三川國額田郡□□

調塩三斗

FB 35 031 参河國渥美郡□□□□米五斗

* FP 34 011 若狭國遠敷郡佐分郷式多里 三家牧田 御調塩三斗

SN 35 033 (参河國) □國賀茂郡高橋郷物部千万呂

FN 35 031 若狭國三方郡耳郷中村里 物マ□万呂御調 五斗

** FP 34 019 駿河國志太郡正丁作物布乃理一籠

天平勝寶六年十月

户主 □□□□□□

FP 34 019 (駿) [太カ] □河國信□□□□里□田マ

FI 35 081 能登國□□

(神カ) □□電□年□月

FO 35 081 (能登) [能カ] □登國□登□

FP 35 019 (美濃) □濃國山縣郡出磯郷田并里神人廣目米二斗

守部三麻呂米三斗右六斗天平三年十月廿日

FP 34 033 備前國上道郡播多郷秦老人庸米三斗

秦忍山米二斗并五斗

FQ 35 039 伊豫國周敷郡池

里

FO 35 032 備前國邑久郡
須惠郷調塩三斗

FB 35 032 和氣郡進小麦一俵

葛木マ小墨

FP 34 019 安久太郷白米五斗

FP 35 039 安藝國佐伯郡中男

FO 35 032 忍上

FO 35 019 伊予國
濃

* FO 35 032 佐古嶋山鹿マ酒人伊支須

FO 35 039 伊予國合濃郡并於郡

FN 35 081 語直國万呂五斗

FR 35 039 伊豫國越智郡旦倉郷同里

平寶字六年七月

FO 35 039 濃郡山前郷物マ
俵

FL 35 032 戸主苧田マ余白米
三斗カ

FO 35 081 王マ大庭戸同マ若大根
調荒

苧田首足國五升
苧田首廣田二斗五升

老五
十一月

諸国荷札表 (139次)

国名	点数	国名	点数
隱岐	15	能登	2
伊予	7	美濃	2
参河	6	信濃	1
備前	5	越前	1
志摩	3	安芸	1
若狭	3	丹後	1
近江	2	因幡	1
駿河	2	美作	1

FN
35

091

□
□

天平三年

FQ
33

039

天平元年十月

FQ
33

033

上マ商伊加六斤

*
FQ
32

039

玄蒸一斤

*
FQ
32

032

獺肝二具

FQ
32

019

美濃国山縣郡大角豆五斗

* *
FQ
32

033

(近江国)
坂田郡上作贄三斗員六十三隻

FQ
31

039

・近江国愛智郡中□□□胡□□
〔男〕

・三斗一升二合
天平□□□□

FQ
32

033

近江国浅井郡速水□

FQ
33

039

志摩国英虞郡名□□郷杖□里
〔錐〕

FQ
31

081

大根卅□
〔把カ〕

FQ
31

019

・大厨司□

・命垂給雜魚

東西溝SD一〇五五〇

FQ 33 039 隱伎國 海部□□
久良里□□

FQ 31 031 隱伎國 海部郡□宅郷□□里
勝部□波海藻六斤 天平□年
〔神〕 〔三カ〕

* FQ 31 031 隱伎國 海部郡作佐郷 調紫菜二斤
大井里海部小付

FQ 31 031 備前国邑久郡方上郷寒川里

・白猪マ色不知□二尻

FQ 35 039 備前國□□
〔上カ〕

・秦大丸戸口□□□□

FQ 33 019 紀伊国安□郡吉備郷人□□□□

〔諦カ〕

FQ 35 032 紀伊国伊都郡指理郷白米五斗

天平六年三月

PQ 35 039 伊豫国伊豫郡川村郷海マ里白髪□□

第一四〇次調査 (6 A B H · I · J 区)

南北溝 S D 一〇三二五

** AK 51 032 西大宮正月佛 御供養雜物買□錢

・一貫五百六十文 御五升 正月十六日赤石前

AK 51 019 荒国 已上五人朝夕給了勿□

・十二月十四日中臣大庭

AK 51 019 三具舎人□□料
一具家人料者

・□月廿日葛野足山

AK 51	AK 51	AK 51	AK 51	* AK 51	AK 51	AK 51
091	091	091	091	091	081	081
從八位上觀本	「 <input type="checkbox"/> 中衛 <input type="checkbox"/> 」 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	造曹司所請 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 廣人 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 原 <input type="checkbox"/> 万呂 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 左兵衛府奏 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	系真嶋 [鴛] <input type="checkbox"/> 長 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> [雀名]	[道] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 守 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

AK 51	AK 51	AK 51	AK 51	AK 51	AK 51	AK 51	AK 51
081	081	081	091	091	091	091	091
五月三日	人十	<input type="checkbox"/> 三人東	造宮省 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	中衛府	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 位上 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 見掾從七下 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 子丑寅卯辰 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

AJ 51 081 衛門府

AK 51 091 和尔部廣成

AK 51 019 梅子 解

南北溝SD三七一五

AK 47 033 里 小目赤 米
〔尔之〕 〔春之〕

AN 47 081 九月 庸
〔請力〕

AL 47 091 石作十四人

AL 47 091 民部省移

AK 47 081 馬 歲七

堅

南北溝SD一〇七〇六

BI 48 081 山 京橋造不扶

少疏倉人

臣
〔巨勢朝之〕

東宮南道

宣口臺正總日九
又壬戌日二十

東西溝SD一〇七〇五a

AM
49 081
□一升充御山所御糶料
〔粥カ〕
□常陸
四月廿三日京万呂
〔アカ〕
□足万呂

・残□三斗九升□合
〔乗カ〕
〔四カ〕
四月廿日勘文人上

□米
□
□
□
□
□
□
□
〔付カ〕

第一四一―二三次調査(6AHN)

平城京東堀川跡SD一三〇〇

FG
66 081
□直十五□
〔文カ〕

□
□

EH
67 081
□
□
□
□
□
□
□
□
〔一人料カ〕
二月 □

EG
68 081
□
□
□
□
道謹
〔光カ〕

EF
67 019 進人

第一四一—二八次調査 (6AFH)

左京三条三坊七坪

南北溝SD二三三五

03/ 尾張國仲嶋郡牧沼郷新居里

・ □ 了廣嶋白米五斗五月一日

第一四一—三五次調査 (6AFI)

左京三条二坊七坪

土壙SK一七

RK 11
011 □ □ 里人 歳歳歳歳歳歳

第一四三次調査 (6ABY)

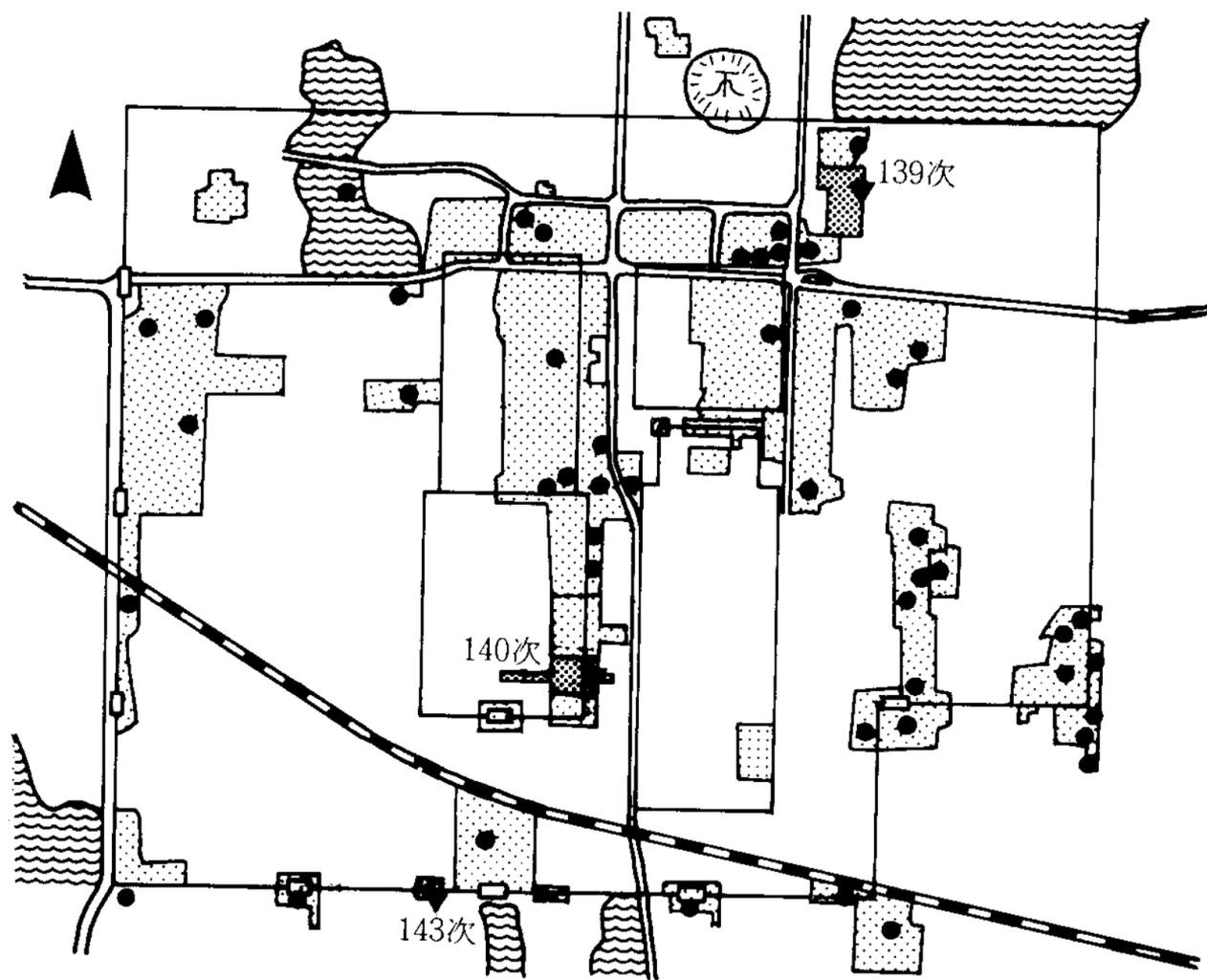
朱雀大路西侧溝SD一〇九五〇

LQ
60

051 阿波国 □ □ 郡川嶋郷

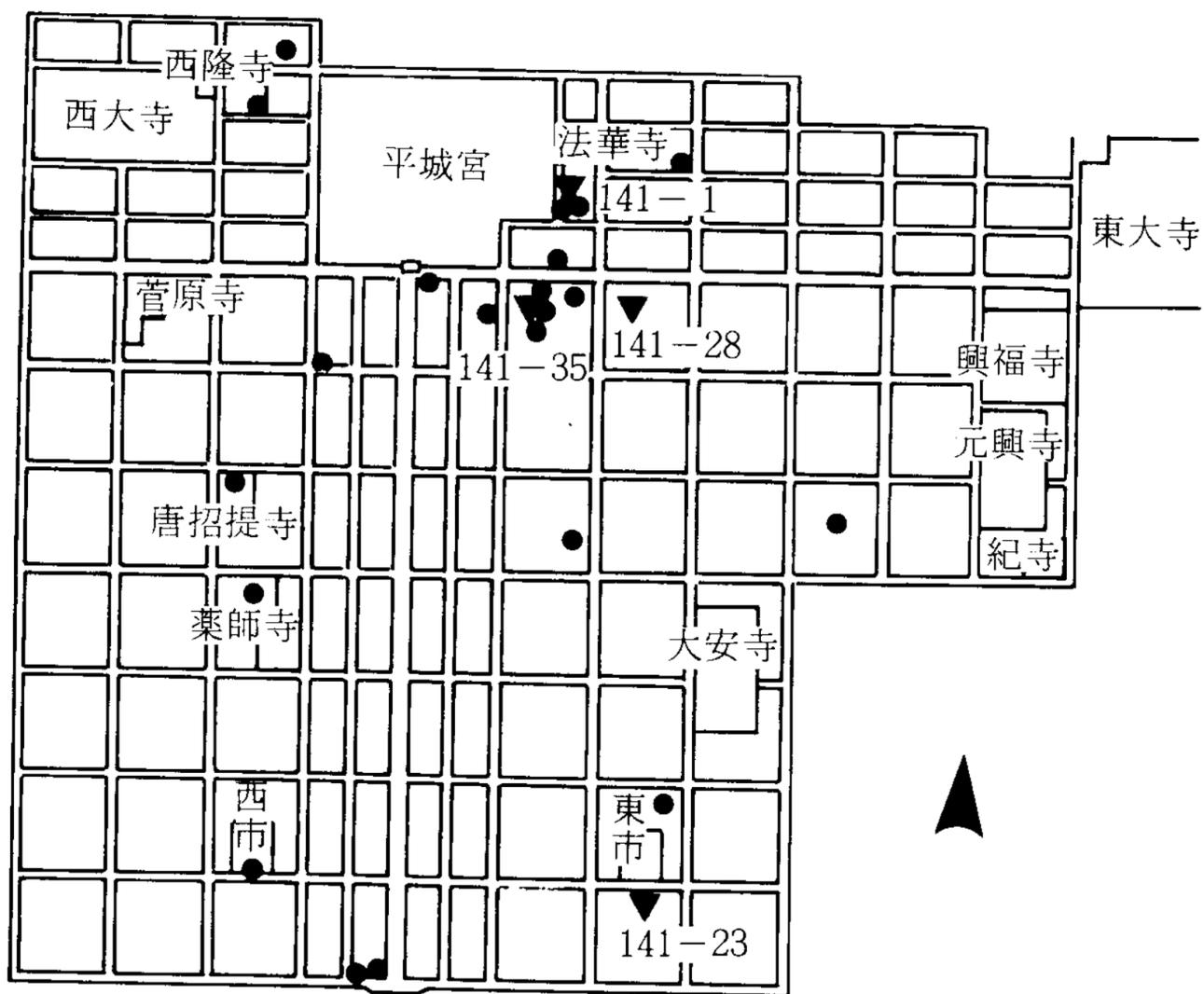
〔麻殖カ〕

・ 小楮里忌部足嶋庸米六斗



第1図 平城宮木簡出土地点略図

- 既発掘地
- 1982年度発掘地
- 木簡出土地
- ▼ 1982年度木簡出土地



第2図 平城京木簡出土地点略図

- 木簡出土地
- ▼ 1982年度木簡出土地